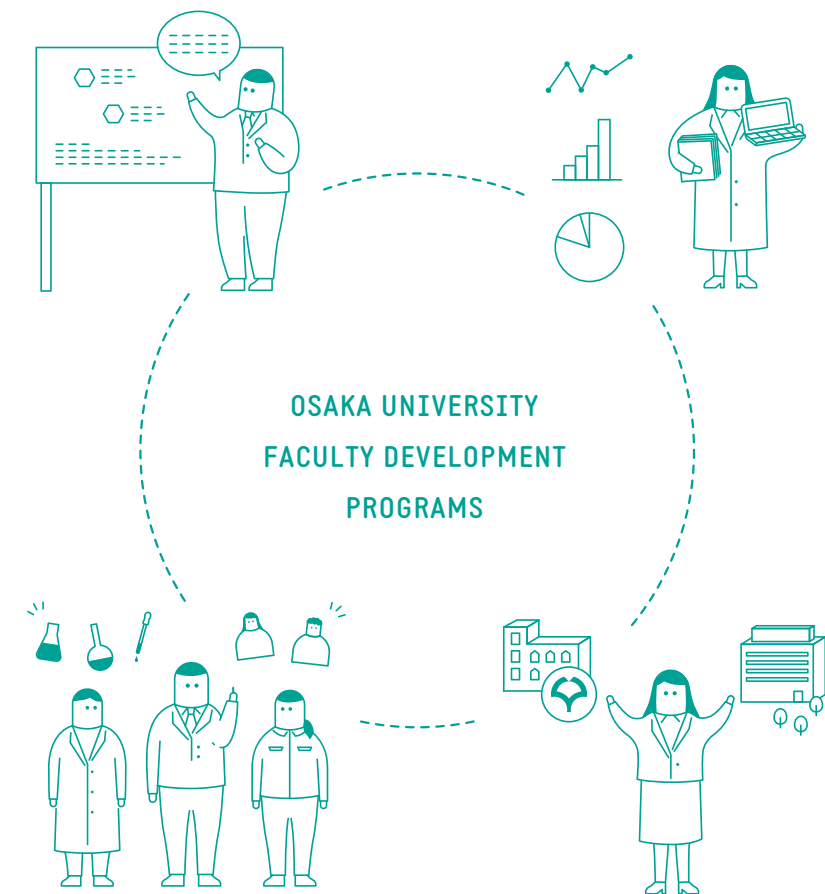


大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学スチューデント・
ライフサイクルサポートセンター教学支援部
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

2024 年度

10 月～3 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。その中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力

開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。



新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2024年後期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

＜各プログラムの受講必須時間＞

- ▶ **教育能力 開発プログラム** 10時間以上
- ▶ **研究能力 開発プログラム** 4時間以上
- ▶ **社会学連携能力 開発プログラム** あわせて6時間以上
- ▶ **マネジメント能力 開発プログラム** あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE（授業支援システム）」の「コミュニティページ」にて確認することができます。受講時間のCLEへの反映は、受講されてから約2ヶ月後となりますことをご了承ください。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

修了証書

あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日
大阪大学理事

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限120時間）。

詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

研修プログラム一覧〈令和6年度後期(2024.10～2025.3)通年開催分〉

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいた
だくか、学内ポータルサイト「マイハндаイ」
(FD 関係)にてご確認ください。



教育能力
開発プログラム



研究能力
開発プログラム



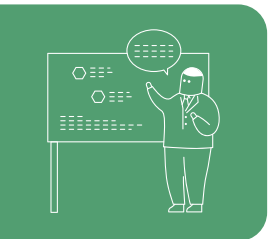
社会学連携能力
開発プログラム



マネジメント能力
開発プログラム

カテゴリ	掲載 ページ	対象者 の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10 月									
社会学連携	P. 19	－	新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	対面	10 月 7 日 10:30-11:30	1	20 名	日本語	適塾記念センター
マネジメント	P. 21	○	不適応学生への対応	オンライン	10 月 10 日 13:00-14:00	1	70 名	日本語	人文学研究科／文学部
教育	P. 6	－	授業デザインの方法	オンライン	10 月 10 日 13:30-15:00	1.5	20 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 6	－	研究室不登校の学生へのアプローチについて	対面	10 月 16 日 13:30-15:00	1.5	30 名	日本語	工学研究科
教育	P. 6	－	アクティブ・ラーニング	オンライン	10 月 18 日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 6	－	本学における障がい学生支援	オンライン	10 月 24 日 12:15-13:30	1.25	制限なし	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P. 7	－	授業・学生対応で活かせる！ 学生理解に向けたボードゲーム「DAIGAKU」の教育活用	対面	(豊中)10 月 25 日 16:30-18:30	2	20 名	日本語	人間科学研究科
社会学連携	P. 19	－	科学技術の ELSI(倫理的・法的・社会的課題)と 責任ある研究開発を検討する実践的協働の手法	対面	10 月 31 日 13:00-15:00	2	20 名程度	日本語	CO デザインセンター
11 月									
社会学連携	P. 19	－	新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	対面	11 月 6 日 10:30-11:30	1	20 名	日本語	適塾記念センター
教育	P. 7	－	学生のこころへの関わり方	対面	11 月 6 日 13:30-15:00	1.5	30 名	日本語	工学研究科
教育	P. 7	－	授業・学生対応で活かせる！ 学生理解に向けたボードゲーム「DAIGAKU」の教育活用	対面	(吹田)11 月 7 日 13:30-15:30	2	20 名	日本語	人間科学研究科
研究	P. 14	○	情報科学研究科 FD・SD 研修	対面	11 月 7 日 15:10-16:50	1.67	100 名	日本語	情報科学研究科
教育	P. 7	－	傾聴について	対面	11 月 11 日 13:00-15:00	2	20 名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P. 7	－	ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)	対面	11 月 20 日 13:30-16:00	2.5	30 名	日本語	工学研究科
教育	P. 8	－	学際教育の方法	オンライン	11 月 20 日 17:00-19:00	2	16 名	日本語	学際大学院機構 横断型教育統括部門
教育	P. 8	－	令和6年度版 シラバスの書き方	オンライン	11月21日、11月28日 各日 13:30-15:30	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 6	－	アクティブ・ラーニング	オンライン	11 月 21 日 15:10-16:40	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P. 21	○	人文学研究科ハラスメント防止研修会	対面	11 月 21 日 15:10-16:10	1	制限なし	日本語	人文学研究科
12 月									
社会学連携	P. 19	－	懐徳堂300周年と大阪大学総合学術博物館の役割	対面	12 月 2 日 13:30-15:00	1.5	20 名	日本語	総合学術博物館
研究	P. 14	○	令和6年度 研究教育フォーラム	対面	12 月 12 日 15:30-17:30	2	70 名	日本語	文学部
教育	P. 8	－	授業における生成 AI の活用法	対面	12 月 20 日 16:50-18:20	1.5	25 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部／ SLICS センター
1 月									
マネジメント	P. 21	○	文学部ハラスメント防止講習会	オンライン	1 月 23 日 16:15-17:15	1	70 名	日本語	人文学研究科／文学部
3 月									
教育	P. 9	○	国際交流科目担当教員及び TA 予定者対象 オリエンテーション並びに FD 研修	オンライン	3 月 10 日 13:30-15:00	1.5	20 名	日本語	国際教育交流センター
複数月開催									
研究	P. 14	－	人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ	対面	毎月 1 回(原則 木曜 16:00-17:10) ※10/24、11/28、 12/19、1/23、 2/20、3/6	各回 1.17	各回最大 30 名	日本語／ English (実施回に よる)	人間科学研究科
未定									
研究	P. 15	－	STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会	対面 オンライン	未定	2	100 名 程度	日本語	サイバーメディアセンター
研究	P. 15	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	対面 オンライン	未定	未定	未定	日本語／ English	微生物病研究所
社会学連携	P. 20	－	大阪大学の歴史	オンライン	未定	1.5	50 名	日本語	アーカイブズ
マネジメント	P. 21	－	メンタルヘルス講習会	オンライン オンデマンド	未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部／ キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
マネジメント	P. 22	○	キャンパスハラスメントに関する研修会	対面	未定	1	約 100 名	日本語	人文学研究科／外国語学部
マネジメント	P. 22	○	蛋白研防災安全講習会	オンデマンド	10 月頃の 1 か月間 (日程未定)	1	200 名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P. 22	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	オンデマンド	10 月初旬配信予定	1	制限なし	日本語	理学研究科
マネジメント	P. 22	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	－	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	－	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	－	詳解：化学物質安全取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部

カテゴリ	掲載 ページ	対象者 の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
マネジメント	P. 23	－	大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCS IV)の利用について	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	－	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	－	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン オンデマンド	対面、オンライン: 10 月～11 月予定 オンデマンド:未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
教育	P. 9	○	高等司法研究科 FD 講演会 (外部講師によるモデル授業・意見交換会)	対面	10 月～1 月 (日程未定)	3	未定	日本語	高等司法研究科
マネジメント	P. 24	－	ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム	対面	10 月～2 月 (毎月1回、日程未定)	各回 1	10 名程度	日本語	人間科学研究科
教育	P. 9	－	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FD フォーラム)	オンデマンド	10 月頃～3 月	2.5	制限なし	日本語	ファカルティ・ ディベロップメント委員会
社会学連携	P. 20	－	アートを通じた社会との共創－中之島芸術センターの活用	対面	11 月～1 月頃 (日程未定)	1.5	15 名程度	日本語	中之島芸術センター
マネジメント	P. 24	○	産業科学研究所 ハラスメント防止に関する講習会	対面	11 月～2 月の間で 予定 14:00-15:30	1.5	50 名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P. 25	－	未定(障がい者問題に関するテーマを予定)	オンライン	12 月(日時は未定)	1.5	制限なし	日本語	人権問題委員会
随時・定期開催									
教育	P. 10	－	障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のためのインターンシップ～	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター／キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P. 10	－	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター／キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P. 10	－	障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の就労支援～	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター／キャンパス ライフ健康支援・相談センター
教育	P. 11	－	外国人留学生のキャリア支援	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター／ 国際教育交流センター
教育	P. 11	－	博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援【知識編】	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P. 11	－	博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援【指導編】	オンデマンド	～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
研究	P. 15	○	生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)	対面 オンライン	毎週火曜日 12:15-13:00	0.75	100 名まで	日本語／ English	生命機能研究科
研究	P. 15	○	IST ランチセミナー	対面	週 1 回程度 12:00-13:00	各回 1	各回 20 名	日本語／ English	情報科学研究科
研究	P. 16	○	微研集談会	対面	毎月第 4 火曜日 (12 月 1 月を除く) 16:00-17:00	1	制限なし	日本語／ English	微生物病研究所／ 免疫学フロンティア研究センター
研究	P. 16	－	アドバンストセミナー	対面 オンライン	毎月 1 回(3 月を除く) 16:00-17:00	各回 1	制限なし	日本語／ English	微生物病研究所／ 免疫学フロンティア研究センター
教育	P. 11	○	FD 研修会	対面	隔月 1 回程度 (日程未定)	各回 1 程度	60 名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P. 16	○	蛋白研コロキウム	対面 オンライン	隔月 1 回程度 (日程未定)	各回 1 程度	60 名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P. 16	○	IST ネットワーキングイベント	対面 オンライン	隔月(年間 5 回予定)	各回 1.5	各回 30 名 程度	日本語	情報科学研究科
研究	P. 17	－	STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会	オンデマンド	～2 月 28 日	3	300 名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	－	CLE 講習会(入門編)	オンデマンド	～3 月 31 日	2	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	－	CLE 講習会(応用編)	オンデマンド	～3 月 31 日	2	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	－	オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)	オンデマンド	～3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ライフサイクル サポートセンター／ サイバーメディアセンター／ 全学教育推進機構教育学習支援部
教育	P. 12	－	シラバスの書き方	オンデマンド	～3 月 31 日	3	制限なし	日本語／ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 13	－	学習評価	オンデマンド	～3 月 31 日	3	制限なし	日本語／ English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 13	－	パワーポイントを使った講義動画制作	オンデマンド	～3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ ライフサイクルサポートセンター
教育	P. 13	－	教育のための実践型動画制作	オンデマンド	～3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ ライフサイクルサポートセンター
研究	P. 17	○	不正防止について	オンデマンド	～3 月 31 日	0.33	制限なし	日本語／ English	微生物病研究所／ 免疫学フロンティア研究センター
研究	P. 17	－	オープンサイエンス時代における 研究データマネジメントの基礎について学ぶ	オンデマンド	～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	オープンサイエンス推進室
研究	P. 18	－	研究者のキャリア形成における URA(University Research Administrator)との接点について	オンデマンド	～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	経営企画オフィス
研究	P. 18	－	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学における オープンアクセス支援	オンデマンド	～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	附属図書館／ 経営企画オフィス URA 部門
マネジメント	P. 25	○	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	オンデマンド	～3 月 31 日	2	制限なし	日本語	総務部人事課人材育成係
マネジメント	P. 25	○	バイオセイフティー講習会	オンデマンド	～3 月 31 日	2	50 名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P. 25	－	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンデマンド	～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 26	－	新入教職員安全衛生講習会	オンデマンド	～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 26	○	産研メンター制度利用者に向けての講演会	オンデマンド	～3 月 31 日	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
研究	P. 18	－	人文学研究者必見！研究データ管理とははじめ －OUKA で始める IIIF 画像の公開と利活用－	オンデマンド	10 月 1 日～3 月 31 日	1	制限なし	日本語	グローバル 日本学教育研究拠点
社会学連携	P. 20	－	映画「洪庵と 1,000 人の若ものたち」鑑賞と解説	オンデマンド	～3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	適塾記念センター



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成
方法、評価方法、学内の
授業支援システム(CLE)
の操作方法、多様な学生
への理解など、阪大生の
学習を促すための授業
設計に関するプログラム
です。

◎受講にあたり、特別
な配慮が必要な場合、
開催2週間前までに
ご連絡ください。
◎本プログラムへの
参加は「大阪大学FD
ポイント」に反映され
ます。ご自身のFDポイ
ントはCLE上で確認で
きます。

授業デザインの方法

講師：長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 10月10日 13:30-15:00

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉現在の大学教員には、アクティブ・ラーニングやICTツールなどを必要に応じて駆使していく多様な教育能力が求められています。しかし、これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、まず教育学の理論に基づいた授業デザインの基本的な方法論について学びます。そして、それらの方法論を踏まえながら、実際に自身の授業デザインを改善するワークに取り組んでもらいます。この機会に、授業の質を高める新しいスキルを身につけましょう。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



20名 1.5時間 日本語 オンライン

研究室不登校の学生へのアプローチについて

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 10月16日 13:30-15:00

〈キーワード〉研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれます。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加します。この観点から基本的な対応法を紹介します。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室 ☐negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。☐kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

30名 1.5時間 日本語 対面

アクティブ・ラーニング

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 10月18日 13:30-15:00、11月21日 15:10-16:40

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせるアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

本学における障がい学生支援

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 10月24日 12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮、説明

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とします。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会とします。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター庶務係 ☐campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

授業・学生対応で活かせる！学生理解に向けた ボードゲーム「DAIGAKU」の教育活用

講師：萩原広道(人間科学研究科 助教)
田尾俊輔(学際大学院機構 助教)

豊中 10月25日 16:30-18:30 **吹田** 11月7日 13:30-15:30

〈キーワード〉学生理解、疑似体験、ボードゲーム、キャリア教育、リフレクション

〈概要〉本ワークショップでは、学生と共に開発中の「大学生を疑似体験する」ボードゲーム「DAIGAKU」をプレイするなかで、教職員が現代の大学生生活を疑似的に体験し、学生理解を深めることを目指します。加えて、かつて学生だった頃の自分と現代の学生とをプレイのなかで比較対照することで、自己の「学生観」の更新を試みます。本ボードゲームは、学生に降りかかるさまざまなイベントやハプニングを他プレイヤーと共有しながら遊べるため、気軽な雰囲気の中で学生の悩みに触れたり、キャリアプランを聴取したりすることが可能です。ゼミ配属時のアイスブレイク、メンタルヘルスケアのための面談、キャリア指導のツールとしても活用できます。ワークショップ内では、こうした教育場面での活用法についても参加者間で意見交換したいと考えています。当日は、大学院生・学部生にも一緒に参加してもらい、学生の意見にも直接触れられるようにする予定です。

《問合せ先：人間科学研究科 比較発達心理学研究分野 ☐hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：下記フォームより事前にお申し込みください(先着順となります)。
https://forms.office.com/r/tDULRV1iNE》



豊中：20名
吹田：20名 2時間 日本語 対面

学生のころへの関わり方

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 11月6日 13:30-15:00

〈キーワード〉共感、レジリエンス、学生指導上の留意点

〈概要〉人間の行動原理、学生的心情、その関わり方について紹介します。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室 ☐negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。☐kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp (新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)》

30名 1.5時間 日本語 対面

傾聴について

講師：広木芽枝(キャンパスライフ健康支援・相談センター 講師)

豊中 11月11日 13:00-15:00

〈キーワード〉傾聴、学生とのコミュニケーション

〈概要〉学生への研究指導や研究室運営において、教員と学生の間で双方向のコミュニケーションが円滑に行われることが望ましいと思われます。本研修では、心理相談においてカウンセラーが実践する「傾聴」について学びつつ、コミュニケーションの土台となる信頼関係を培うヒントを得ていただければと思います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター庶務係 ☐campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

20名 2時間 日本語 対面

ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)

講師：中本かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長)

吹田 11月20日 13:30-16:00

〈キーワード〉ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア

〈概要〉まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。体験演習の都合上、動きやすい服装、履物でご参加頂けますようお願い申し上げます。

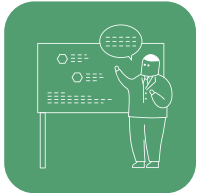
《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室 ☐negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。☐kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp (新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)》

30名 2.5時間 日本語 対面

定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式

※掲載内容は8月末時点の
情報です。
最新情報は各開催部局に
お問い合わせいただく
か、学内ポータルサイト
「マイハンダイ」(FD 関
係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

学際教育の方法

講師：田尾俊輔(学際大学院機構 助教)
李明(学際大学院機構 准教授)
堀井祐介(学際大学院機構 教授)

オンライン 11月20日 17:00-19:00

〈キーワード〉学際、DWAA、知と知の融合、社会と知の統合、異分野理解、ICT活用

〈概要〉学際教育、文理融合教育、総合知教育という用語を最近よく耳にするようになりました。大阪大学では多様な学部・研究科等から科目が提供されていますが、学生に科目を提供することに加え、どのように異なる分野と学際(transdisciplinary)できるのかを教えることも重要であると考えられます。そこで本研修では、大阪大学での学際教育の実践事例を体験し、学際教育を進めるにあたって教員は何をどのように教えると良いのかについて考えます。現在、学部・大学院で学際教育を担当されている方、これから学際教育の授業を設計しようと考えている方のみならず、一般教養科目や専門科目等で異なる学部・研究科の学生を教えている方にも参考にしていただける内容となっています。※ノートパソコンやタブレット等をご用意ください。アンケート回答やChatGPT入力時に使用します。※ChatGPTのアカウントを作成しておいてください(無料版で問題ありません)。

《問合先》学際大学院機構 (i-TGP) 横断型教育統括部門 ☒ tao.shunsuke.itgp@osaka-u.ac.jp》

《申込方法》下記のフォームからお申し込みください。先着順となります。
<https://forms.office.com/r/w6QYZtUpr>》

 16名
 2時間
 日本語
 オンライン



令和6年度版シラバスの書き方

講師：長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 11月21日 13:30-15:30、11月28日 13:30-15:30

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、来年度からフォーマットが変更されたシラバスの作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。
*参加者はご自身のシラバス(どれか1つ)を持参ください。ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

 制限なし
 2時間
 日本語
 オンライン



授業における生成AIの活用法

講師：浦田悠(全学教育推進機構 准教授)
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)
村上正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 12月20日 16:50-18:20

〈キーワード〉生成AI、学習評価、レポート、ICT活用

〈概要〉本研修では、ChatGPTなどの生成AIの特徴と教育現場における最新の動向を学びます。その上で、生成AIが授業デザインや学習評価に与える影響、そしてそれに対する対応策や活用方法について、実際に生成AIを体験しながら考えます。「まだ生成AIがどういうものかよくわからないので知りたい」「普段の授業に役立つなら使ってみたい」というようなニーズをお持ちの方向けの内容です。
※受講の際は、ChatGPT (<https://chat.openai.com/>) のアカウントを事前に準備していただくことをおすすめします。
※パソコン (Windows・Mac) をご持参ください。

《問合先》全学教育推進機構 教育学習支援部 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

 25名
 1.5時間
 日本語
 対面



限定 国際交流科目担当者及び国際交流科目に興味のある構成員

国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修

講師：石倉佑季子(国際教育交流センター 准教授)

オンライン 3月10日 13:30-15:00

〈キーワード〉国際交流科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、その単位互換のため、授業の質保証が強く求められています。また英語で開講されること、本学の一般学生も同時に受講することなど、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、国際交流科目特有の問題や悩みをテーマとして取り上げ、参加者同士で実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。近年シラバスの整備や充実が求められており、シラバスをより具体化することで授業の質の向上に繋がると言われています。そこで「国際交流科目のシラバスをブラッシュアップする～学生がわかりやすいシラバスとは～」というテーマでFDを行い、これまでのシラバスを見直す機会を設けることができたかと考えています。

《問合先》国際教育交流センター 短期プログラム開発研究チーム ☒ kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》2月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定。
メールにて申し込むこと(新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと)。》

 20名
 1.5時間
 日本語
 オンライン

限定 法学系全教員

高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)

講師：高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した数名

豊中 10月~1月(日程未定)

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉他大学法科大学院等の教員のモデル授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞します。続く意見交換会では、当該教員のほか、複数の法科大学院の教員が出席して、意見交換会を行います。これにより法科大学院学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルの習得と教育能力の向上を目的とします。

《問合先》高等司法研究科 教務係 ☒ houkou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》9月以降、高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員に対するメール募集・申込》

 未定
 3時間
 日本語
 対面

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)

講師：学内教員

オンデマンド 10月頃~3月

〈キーワード〉教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。
今年9月に開催したFDフォーラムをアーカイブ化し、オンデマンドで提供します。

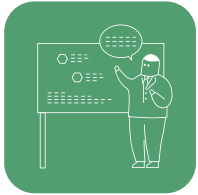
《問合先》教育・学生支援部 教育企画課 総務係 ☒ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法》事前の受講申込は不要です。》

 制限なし
 2.5時間
 日本語
 オンデマンド

 定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

障がい学生のキャリア支援【インターンシップ編】 ～精神・発達障がいのある大学生のための インターンシップ～

講師：吉田裕子(マザーシップキャリア支援研究所 所長)

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉インターンシップ、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神・発達障がいのある大学生のキャリア支援において、学生が自身の障がい特性や就労準備性について自己理解を深めること、支援者が修学支援とは別の視点からどのような支援が必要かを知ることが重要です。そのために非常に有効な手段となる「インターンシップ」に焦点をあて、どのような社会資源があり、どのように実施され効果が検証されているのか、事例を中心にご紹介いたします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけるとともに、学外の関係機関との有機的な連携について考える機会となることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》

障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～

講師：村田淳(京都大学 学生総合支援機構 准教授)

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法(2016年4月施行)により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

〈目的〉障がいのある学生(障がい特性のある学生を含む)の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》

障がい学生のキャリア支援【就職支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者の 就労支援～

講師：池田浩之(兵庫教育大学 助教)

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障がい、発達障がい

〈概要〉精神障がい・発達障がいのある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境(企業)への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学(認知行動療法)の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

外国人留学生のキャリア支援

講師：魚崎典子

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉外国人留学生、キャリア支援、就職活動

〈概要〉政府は「日本再興戦略2016」を提言し、外国人留学生の日本国内での就職率を向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

〈目的〉外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援 【知識編】

講師：松尾誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

〈目的〉博士課程大学院生・ポスドクの現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解し、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できるようになることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》

博士課程大学院生・ポスドクのキャリア支援 【指導編】

講師：松尾誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

オンデマンド ～2月末

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士課程大学院生・ポスドクの就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士課程学生に対してアドバイスをする方法(コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む)を学びます。

〈目的〉博士課程大学院生・ポスドクの就活の実情を知り的確なサポートができるようになり、博士進学が就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げるべく支援できるようになることを目的とします。

《問合せ先：キャリアセンター ☒ fd@career.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE(キャリアセンター FD)に掲載します。》

限定 蛋白質研究所 FD 研修会

講師：各回によって異なる

吹田 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

60名
程度

各回1時間
程度

日本語

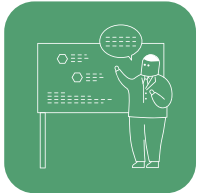
対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式



教育能力 開発プログラム

CLE 講習会（入門編）

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 准教授)
浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)



制限なし



2時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 ☒ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。受講後、アンケートへの回答が必須です。》

CLE 講習会（応用編）

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 准教授)
浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)



制限なし



2時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 ☒ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。受講後、アンケートへの回答が必須です。》

オンラインビデオ教材作成法（Echo 編）

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 教授)
浦田悠(全学教育推進機構 准教授)



制限なし



1.5時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で利活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。※受講の際は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（WindowsもしくはMac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

※ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo窓口（echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。受講後、アンケートへの回答が必須です。》

シラバスの書き方

講師：佐藤浩章(東京大学 大学総合教育研究センター 教授／
全学教育推進機構 招へい教員)



制限なし



3時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。教員の採用や昇進時に、シラバスが評価されることも多くなっています。本セミナーでは、学生の学習を最大限に促すために、シラバスの書き方を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業設計についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスを提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業のシラバスを送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、左のメニュー「コミュニティ」をクリックしていただき、右上に表示される「コミュニティカタログ」のページの「カタログの検索」にて「FDプログラム動画教材」を検索いただき、コミュニティ ID「com-2023-0012」横の「V」から「登録」の上、コミュニティに参加ください。登録後、左のメニューから「コミュニティ」に再度アクセスし、「com-2023-0012 FDプログラム動画教材」を選択いただきますと、「オンデマンドセミナー」というフォルダーが表示されます。そこからご希望のFD講座を選択し、受講してください。一度「FDプログラム動画教材」に登録すると、プログラムごとの個別申込は必要ありません。受講後、課題提出とアンケートへの回答が必須です。》

学習評価

講師：佐藤浩章(東京大学 大学総合教育研究センター 教授／
全学教育推進機構 招へい教員)



制限なし



3時間



日本語



オンデマンド

English

Sub

～3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか1つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、左のメニュー「コミュニティ」をクリックしていただき、右上に表示される「コミュニティカタログ」のページの「カタログの検索」にて「FDプログラム動画教材」を検索いただき、コミュニティ ID「com-2023-0012」横の「V」から「登録」の上、コミュニティに参加ください。登録後、左のメニューから「コミュニティ」に再度アクセスし、「com-2023-0012 FDプログラム動画教材」を選択いただきますと、「オンデマンドセミナー」というフォルダーが表示されます。そこからご希望のFD講座を選択し、受講してください。一度「FDプログラム動画教材」に登録すると、プログラムごとの個別申込は必要ありません。受講後、課題提出とアンケートへの回答が必須です。》

パワーポイントを使った講義動画制作

講師：榎藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)



制限なし



1.5時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉本プログラムでは、パワーポイントを使った簡単な動画教材の制作ができるようになることを目指します。講義ビデオで取り上げる内容は次の通りです。①動画教材を使うメリット②ビデオフォーマットの種類③パワーポイントによる動画作成の手順④動画の公開方法⑤スライド作成の注意点⑥動画公開の注意点
*本プログラムはオンライン（オンデマンド型）で実施します。
*受講の際にはパワーポイントをインストールしたパソコンをご準備ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。下記URL記載の方法で受講していただけます。
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/24_powerpoint.html)
受講後、確認テストとアンケートへの回答が必須です。》

教育のための実践型動画制作

講師：榎藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)



制限なし



1.5時間



日本語



オンデマンド

～3月31日

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉本プログラムでは、大学教職員自らが撮影から編集までの動画制作スキルを身につけることを目指します。講義ビデオで取り上げる内容は次の通りです。①動画を制作するメリット・デメリット②教育現場における動画活用例③動画の企画④撮影準備⑤撮影⑥ショットリストを使った撮影⑦PCへのデータ取り込み⑧Adobe Premiere Rushを使った編集⑨YouTubeでの配信
*本プログラムはオンライン（オンデマンド型）で実施します。
*受講の際にはスマートフォンやカメラ、編集用のパソコンをご準備ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 ☒ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。下記URL記載の方法で受講していただけます。
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/24_Hands-OnVideoProduction.html)
受講後、確認テストとアンケートへの回答が必須です。》



定員



受講時間



使用言語



研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各関係部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 情報科学研究科

情報科学研究科 FD・SD 研修

講師：赤穂州一郎(共創機構 特任教授)

濱田綾(キャンパスライフ健康支援・相談センター 助教)

吹田 11月7日 15:10-16:50

〈キーワード〉ソフトウェア特許、AI特許、ハラスメント防止・対策の現況

〈概要〉情報分野における特許を申請するための方策(1時間程度)、ハラスメント防止・対策の現況(40分程度)を含み、全体で1時間40分程度の研修とし、研究科の全教職員を対象とします。
ソフトウェア特許やAI特許に関する現状や課題を理解すること、また、ハラスメントの現状を知ること、教職員が今後の部局運営や教育研究活動をよりよいものにするを目的とします。

《問合せ先：情報科学研究科 庶務係 ☐jyouhou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：情報科学研究科 庶務係宛に参加者の所属及び氏名をお知らせください。
(連絡先は上記問い合わせ先と同じです。)》

限定 文学部

令和6年度 研究教育フォーラム

講師：未定

豊中 12月12日 15:30-17:30

〈キーワード〉研究、教育

〈概要〉本研究科の名誉教授および本研究科等の教員によるそれぞれの専門分野に関する研究発表や社会学連携活動の講演と座談会を行い、それについて質疑応答を通じて、人文学研究の理解を深めます。
本研究科教員の研究遂行能力を開発するとともに、研究成果を教育の場や社会学連携の場に効果的に活かすための方法を開発します。

《問合せ先：人文学研究科 豊中事務部 庶務係 ☐jinbun-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：研究科教員宛てに通知する開催案内に沿って申込みを行う。》

人間科学研究科：行動学系若手セミナーシリーズ

講師：萩原広道(人間科学研究科 助教)

吹田 毎月1回(原則木曜16:00-17:10)
※10/24、11/28、12/19、1/23、2/20、3/6

〈キーワード〉研究交流、学際教育、若手研究者、研究発表

〈概要〉若手研究者が、分野の垣根を越えて「気軽に」研究発表および議論できる場を定期的に設けることで、助教・ポスドク・大学院生などが相互に交流し、自身の研究分野・研究テーマを相対的に捉えたり、他者の研究分野・研究テーマの要点をより的確に捉えたりできるようになることを目指します。本セミナーシリーズでは特に、隣接分野同士での学際的な議論の場を設けるために、人間科学研究科の行動学系に焦点を当てて、毎月異なる登壇者を招き、研究に関するトークと議論を実施します。

《問合せ先：人間科学研究科 比較発達心理学研究分野 ☐hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込不要。現地に直接お越しください。事前に情報が必要な方は担当(萩原)までご連絡ください。》

100名 1.67時間 日本語 対面

70名 2時間 日本語 対面

各回最大30名 各回1.17時間 English (実施回による) 日本語 English 対面

STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会

講師：外部講師

小林聖人(サイバーメディアセンター 助教)

豊中 オンライン 未定

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Mathematica、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、サイバーメディアセンターが全学ライセンスを購入しているMathematicaの基本操作の修得を目的に、Mathematicaの基本構成と原理、Mathematicaの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：詳細は情報教育システム利用教員メーリングリスト、サイバーメディアセンターホームページ等で開催を告知する。》

限定 微生物病研究所

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：外部派遣講師(未定)

吹田 オンライン 未定

〈キーワード〉Academic English, Scientific writing skills, English presentation skills, English communication skills

〈概要〉学会発表・論文執筆等、英語による情報発信力を目的とした研修です。
英文ジャーナルに投稿する際のよりよい情報発信についてオンラインセミナーおよび、学会発表スライドの個別指導企画を実施します。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室 ☐kikaku@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催約1か月前にメール通知後、メールによる参加受付。》

限定 生命機能研究科(他部局所属の兼任教員も含む)

生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

吹田 オンライン 毎週火曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室 ☐kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：☐kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp まで。》

限定 情報科学研究科

IST ランチセミナー

講師：情報科学研究科 教員

吹田 週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ☐ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎週、研究科内の教職員宛に受講に係る通知を予定。》



100名程度 2時間 日本語 対面 オンライン

未定 未定 日本語 English 対面 オンライン

100名まで 0.75時間 日本語 English 対面 オンライン

各回20名 各回1時間 日本語 English 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター／医学系研究科

微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 毎月第4火曜日（12月、1月を除く） 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む。》

制限なし
1時間
日本語
English
対面

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 毎月1回（3月を除く） 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンラインの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制（メールで申込）。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし
各回
1時間
日本語
English
対面
オンライン

限定 蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 **オンライン** 隔月1回程度（日程未定）※対面またはオンライン

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》

60名
程度
各回1時間
程度
日本語
対面
オンライン

限定 情報科学研究科

ISTネットワークイベント

講師：第一線で活躍する研究者

吹田 **オンライン** 隔月（年間5回予定）

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室》✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定。》

各回
30名
程度
各回
1.5時間
日本語
対面
オンライン

STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

講師：外部講師

小林聖人(サイバーメディアセンター 助教)

オンライン ~2月28日

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、サイバーメディアセンターが全学ライセンスを購入しているMapleの基本操作の修得を目的に、Mapleの基本構成と原理、Mapleの基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：詳細は情報教育システム利用教員メーリングリスト、サイバーメディアセンターホームページ等で開催を告知する。》



300名
程度
3時間
日本語
オンデマンド

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター

不正防止について

講師：微生物病研究所 所長

オンライン ~3月31日

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月はじめ各分野宛に受講者募集に係る通知、及び、5月以降新任着任時に随時、本人に通知。受講希望者は、分野事務担当者を通じて、申込フォームを記入し、メールにて上記担当部署まで申し込む。申込者は随時大阪大学CLEにて動画を視聴。》

制限なし
0.33時間
日本語
オンデマンド
English

オープンサイエンス時代における研究データ マネジメントの基礎について学ぶ

講師：甲斐尚人(附属図書館 准教授)

オンライン ~3月31日

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画の策定や論文のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点や本学の研究データ基盤整備の状況等について説明します。

《問合先：研究推進部 研究企画課 研究企画係》✉ research-plan@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講URL (https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_207444_1/outline)（事前申込不要）受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》

制限なし
1時間
日本語
オンデマンド

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は8月末時点の
情報です。
最新情報は各開催部局に
お問い合わせいただく
か、学内ポータルサイト
「マイハンダイ」(FD 関
係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

研究者のキャリア形成における URA(University Research Administrator) との接点について

講師：経営企画オフィス URA

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉URA、研究推進、外部資金、IR

〈概要〉本研修は、研究者のキャリア形成におけるURAとの接点について、①「URAを活用する」、②「URAになる」の二部構成で説明します。第1部「URAを活用する」では、URAが提供する研究活動発展のための学内プログラム等を説明します。第2部「URAになる」では、研究者キャリアを活かして活躍しているURAの事例を紹介します。研究者の日頃の活動にはURA的側面が含まれることを理解し、研究者としての今後の活動やキャリア形成についての新たなヒントを得ていただくことを目的とします。

《問合先：経営企画オフィス URA 部門》 ☒URA-Training@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申し込みは不要です。大阪大学CLEにて動画を配信します。》

オープンアクセスを巡る状況と大阪大学における オープンアクセス支援

講師：図書館職員

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学びます。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解します。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 ☒tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込不要・大阪大学CLEにて動画を配信します。受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ －OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用－

講師：吉賀夏子(人文学研究科 准教授)

甲斐尚人(附属図書館 准教授)

菅原裕輝(人文学研究科 特任助教)

神崎隼人(附属図書館 特任研究員)

田畑智司(人文学研究科 教授)

オンデマンド 10月1日～3月31日

〈キーワード〉研究データ管理、OUKA、IIIF、画像

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。特に、デジタル・ヒューマニティーズの知見を活かし、研究での需要が高いと考えられる高精細な資料画像の閲覧と公開をIIIF（トリプルアイエフ）と呼ばれる国際的な枠組みを用いて行う手法および応用可能性について学びます。実際のケーススタディとして、OUKAに登録された懷徳堂関連文書を利用した閲覧方法および画像公開プロセスを紹介します。

《問合先：グローバル日本学教育研究拠点》 ☒gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込不要です。受講URL：https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_207560_1/outline
受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



定員
受講時間
使用言語
研修形式

新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：島田昌一(医学系研究科 教授)

野村玄(人文学研究科 准教授)

松永浩和(ミュージアム・リンクス 准教授)

適塾 10月7日 10:30-11:30、11月6日 10:30-11:30

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。
講義（①野村玄／②島田昌一） 30分
適塾見学（①②松永浩和） 30分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。
・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合先：博物館・適塾記念センター等事務室 総務係》 ☒kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募る。》

科学技術のELSI（倫理的・法的・社会的課題）と 責任ある研究開発を検討する実践的協働の手法

講師：鹿野祐介(CO デザインセンター 特任助教)

八木絵香(CO デザインセンター 教授)

水町衣里(社会技術共創研究センター 准教授)

豊中 10月31日 13:00-15:00

〈キーワード〉ELSI（倫理的・法的・社会的課題）、RRI（責任ある研究・イノベーション）、テクノロジーアセスメント、学際的協働

〈概要〉COデザインセンターでは、社会技術共創研究センター（ELSIセンター）および産学での連携を通じて、科学技術がもたらす倫理的・法的・社会的課題（ELSI）の検討・評価とそれを見据えた責任ある研究開発を実践するための方法論を開発しています。この研修では、特定の科学技術のユースケースを題材に、それがもたらすELSIや将来を見据えた研究開発の進め方について考える方法をワークショップ形式で学びます。

《問合先：COデザインセンター》 ☒shikano.cscd@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：下記の参加申込フォームより、実施日の1週間前（10月24日）までにお申し込みください。
参加申込フォーム：https://forms.office.com/r/rn75ymvNc2》

懷徳堂 300 周年と大阪大学総合学術博物館の役割

講師：横田洋(ミュージアム・リンクス 准教授)

豊中 12月2日 13:30-15:00

〈キーワード〉大学史、大学博物館、アウトリーチ

〈概要〉2024年は大阪大学の精神的源流のひとつ懷徳堂が創立して300年の記念の年です。懷徳堂は江戸時代の大坂にあった町人の学問所でしたが、江戸の昌平坂学問所などと並ぶ最高水準の学問の拠点として栄えたといわれています。本年、大阪大学では懷徳堂の300周年を記念したさまざまな事業が実施される予定ですが、総合学術博物館でも懷徳堂をテーマとした展覧会を開催します。総合学術博物館は大学の教育、研究、歴史を展覧会などの事業を通して、広く社会に発信する役割を担っています。懷徳堂展を通して大学博物館の使命や役割、そして大学構成員の博物館活用の方法を紹介します。

《問合先：共創推進部 博物館 適塾記念センター等事務室 総務係》 ☒kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：10月頃にICHO掲示板にて受講者募集予定。》

各回
20名 1時間 日本語 対面

20名
程度 2時間 日本語 対面



20名 1.5時間 日本語 対面



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式



社学連携能力 開発プログラム

大阪大学の歴史

講師：菅真城(ミュージアム・リンクス 教授)

オンライン 未定

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉本研修は、自己が所属する大阪大学の歴史について基本的知識を身につけることを目的とします。
前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにする
うえでの資料の重要性について学びます。

《問合せ先：総務部 総務課 文書法規係 ☒soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板でお知らせしますので、①所属、②職名、③氏名（フリガナ）、④個人IDを上記アドレス宛にお知らせ
ください。》



50名 1.5時間 日本語 オンライン

アートを通じた社会との共創 －中之島芸術センターの活用

講師：永田靖(中之島芸術センター 特任教授) ほか

中島センター 11月～1月頃(日程未定)

〈キーワード〉芸術、社学共創、中之島芸術センター

〈概要〉2023年4月にリニューアルした中之島センターに拠点を置く「中之島芸術センター」は、アートを通じた教育研究と
社学共創の理念や手法を探求し、また実践しています。中之島芸術センターがアートを通してどのように社会との共創を
推進しようとしているのか、今までの実例やこれからの展望について紹介します。

《問合せ先：中之島芸術センター事務室 ☒secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヵ月前に受講者募集の案内に係る案内を発出予定（ICHO掲示板上に掲載）
希望者は、Webフォームにて申し込み形とする予定》

15名程度 1.5時間 日本語 対面

映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と1,000人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、
大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大
学の歴史を社会に発信できる人材を育成します。

- ・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞 50分
- ・映画の解説(松永 和浩) 40分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《問合せ先：博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 ☒kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ
申込フォームにて参加を募る。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

2人 定員

1時間 受講時間

日本語 使用言語

研修形式 研修形式

限定 人文学研究科・文学部

不応学生への対応

講師：広木芽枝(キャンパスライフ健康支援・相談センター 講師)

安永正則(キャンパスライフ健康支援・相談センター 助教)

オンライン 10月10日 13:00-14:00

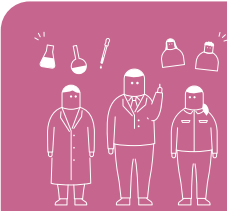
〈キーワード〉不応、障害者差別解消法、合理的配慮

〈概要〉不応学生とは、疾患としての診断を受けて合理的配慮を要する人、また未診断ではあるものの、環境に適応できず、大学
生活に支障が生じている人など、様々な人が該当します。それぞれの学生からの相談を担う専門家を招へいし、本学の現状と
教員としての対応方法をご講義いただきます。

《問合せ先：人文学研究科 評価・広報室 室長 佐藤廉也 ☒rsato@let.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：原則として、人文学研究科人文学専攻、日本学専攻（基盤コース）、芸術学専攻の教員は全員出席。他部局
教職員の参加は要事前相談。》

70名 1時間 日本語 オンライン



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など
安全衛生に関わる内容
や、各種コンプライア
ンスに関わる内容など、
組織の管理運営能力の
開発を目指すプログラ
ムです。

制限なし 1時間 日本語 対面

限定 人文学研究科言語文化学専攻及びマルチリンガル教育センター構成員

人文学研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

豊中 11月21日 15:10-16:10

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行います。
本学におけるハラスメントの状況と防止に向けた取り組みの理解を目的にします。

《問合せ先：人文学研究科 豊中事務部 人事係 ☒jinbun-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：申込不要。詳細は対象者に別途通知》

限定 人文学研究科／文学部

文学部ハラスメント防止講習会

講師：信田さよ子(公認心理師・臨床心理士、原宿カウンセリングセンター顧問)

オンライン 1月23日 16:15-17:15

〈キーワード〉ハラスメント、構造的暴力

〈概要〉本講習会では、ハラスメントの発生のメカニズムに注目します。とくに、なぜ人は加害するのか、私たちは加害者と被害
者をどのように捉え、そのような人々といかに接すればよいのか、また私たち自身が加害者・被害者とならないために
必要なことを考えます。加害者臨床などに携わられている信田さよ子氏を招へいし、ご講演いただきます。

《問合せ先：人文学研究科 文学部ハラスメント問題委員会 委員長 野村玄 ☒nomura.gen.hmt@osaka-u.ac.jp》

《申込方法：原則として、開催部局内限定で学部教育に携わる教員は全員出席。他部局所属の教職員の参加については
要事前相談。》

70名 1時間 日本語 オンライン



メンタルヘルス講習会

講師：未定

オンライン オンデマンド 未定

〈キーワード〉メンタルヘルス

〈概要〉メンタルヘルスへの理解を深めることを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☒anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催を案内します。
案内に書かれた方法により、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 オンライン オンデマンド

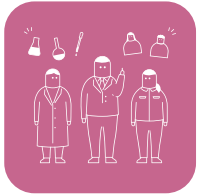
※掲載内容は8月末時点
の情報です。
最新情報は各開催部局に
お問い合わせいただく
か、学内ポータルサイト
「マイハンダイ」(FD 関
係)にてご確認ください。

2人 定員

1時間 受講時間

日本語 使用言語

研修形式 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

限定 人文学研究科／外国語学部

キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

背面 未定（今年度中の教授会開催日に1時間程度を予定）

〈キーワード〉ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメントに関する講演会を行います。ハラスメント防止に係る講演を通じ、ハラスメントに係る意識啓発を行うことを目的とします。

《問合せ先：人文学研究科・箕面事務部 庶務係 ☒ jinbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：部局内構成員宛に開催通知を予定。なお、新任教員については、メールにて担当まで事前に申し込むこと。余裕があれば、学生及び学内教職員宛に通知予定。》

約100名 1時間 日本語 対面

限定 蛋白質研究所

蛋白研防災安全講習会

講師：未定

オンデマンド 10月頃の1か月間（日程未定）

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉消防訓練解説動画の視聴により、通報訓練、消火訓練（消火器）、消火訓練（屋内消火栓）、避難訓練を行います。緊急時の対応方法の習得、防災意識の向上を目的として実施します。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☒ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：上記問合せ先宛にお申し込みください。》

200名 1時間 日本語 オンデマンド

限定 理学研究科

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：上原秀子（基礎工学研究科・理学研究科キャンパスライフ支援室 相談員／専任講師）

オンデマンド 10月初旬配信予定

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合せ先：理学研究科 人事係 ☒ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定。申込は不要。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編）

講師：中本将嗣（コアファシリティ機構低温科学支援部門 兼任准教授）

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定（前期で行った講義は～3月31日まで公開中）

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編）

講師：竹内徹也（コアファシリティ機構低温科学支援部門 教授）

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定（前期で行った講義は～3月31日まで公開中）

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定（前期で行った講義は～3月31日まで公開中）

〈キーワード〉実験系廃液・排水

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》

未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定（前期で行った講義は～3月31日まで公開中）

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCS IV)の 利用について

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定（前期で行った講義は～3月31日まで公開中）

〈キーワード〉大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCS IV)

〈概要〉大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCS IV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としています。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》

未定 1時間 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

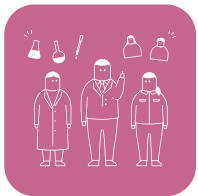
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習

講師：中本将嗣(コアファシリティ機構低温科学支援部門 兼任准教授)

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定(前期で行った講義は～3月31日まで公開中)

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム (OGCS)

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム (OGCS) を使用する教職員が使用方法を習得します。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム (OGCS) の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

対面 オンライン 10月～11月予定 オンデマンド 未定(前期で行った講義は～3月31日まで公開中)

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員を対象に、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について解説します。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



ストレス解消と仕事力向上のためのヨガプログラム

講師：斉藤弥生(ヨガインストラクター)

吹田 10月～2月(毎月1回、日時未定)

〈キーワード〉ヨガ、ストレス解消、健康づくり、研究力向上

〈概要〉海外の大学では、ストレスを軽減し、研究力や仕事力のアップをはかるため、キャンパスライフに体を動かす取り組みを積極的に取り入れています。OUマスタープラン実現加速化事業(活性化A)「社会学共創によるWellbeingでInclusiveなキャンパスづくりの全学展開に向けた試行」の一環として、10月から毎月1回、外部から講師を招き、ヨガプログラムを実施し、大阪大学の教職員のパワーアップに貢献します。

《問合せ先：人間科学研究科 庶務係 ☒ysaito@hus.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：人間科学研究科内・人科DE&Iプロジェクト事務局までメールでお申し込みください。(近日中に設置)》



限定 産業科学研究所

産業科学研究所 ハラスメント防止に関する講習会

講師：大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員

吹田 11月～2月の間で予定。14:00-15:30

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉講義形式やグループディスカッション等で事例をもとに学習します。ハラスメントに関する基礎的な事項及び事例等を学ぶことでハラスメントに対する理解を深め、防止を図るとともに、対処方法を学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 人事係 ☒sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：所内メールにて通知を行い、参加申し込みをしていただきます。》



その他 全教職員・学生・一般

未定(障がい者問題に関するテーマを予定)

講師：未定

オンライン 12月(日時は未定)

〈キーワード〉人権問題、障がい者問題

〈概要〉人権問題(障がい者問題)に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、障がい者問題(テーマは未定)について講師よりお話をさせていただきます。

《問合せ先：総務部 総務課 文書法規係 ☒soumu-soumu-bunsyohouki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月前程前に受講者募集に係る通知を予定。》



限定 令和6年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び職員

大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：西尾章治郎(大阪大学 総長)

金田安史(大阪大学 理事)

田中敏宏(大阪大学 理事)

井上恵嗣(大阪大学 理事)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学共創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係 ☒soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：CLEより各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。受講URL:https://www.cle.osaka-u.ac.jp/webapps/blackboard/content/listContentEditable.jsp?content_id=_1609324_1&course_id=_185324_1》



限定 産業科学研究所

バイオセーフティー講習会

講師：バイオセーフティー担当教員

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。

〈目的〉遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合せ先：産業科学研究所 西野 邦彦 ☒nishino@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込は不要です。産研所内専用ページにて動画配信します。》



電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ☒anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO掲示板、KOAN及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



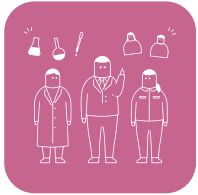
定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



マネジメント能力
開発プログラム

新入教職員安全衛生講習会

講師：高橋 賢臣(安全衛生管理部 准教授)
梅山 芳和(安全衛生管理部 特任技術職員)
長友 泉(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 ✉ anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各自申し込むこと。》

 制限なし  1時間  日本語  オンデマンド

限定 産業科学研究所

産研メンター制度利用者に向けての講演会

講師：家島 明彦(キャリアセンター 准教授)
渡辺 かよ子(愛知淑徳大学 文学部 教授)
中久保 豊彦(工学研究科 准教授)

オンデマンド ～3月31日

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施しており、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。
また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 戦略室 ✉ sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込は不要です。産研所内専用ページにて動画配信します。》

 制限なし  2時間  日本語  オンデマンド

希望する受講プログラム

受講済 ✓	開催日	プログラム名	カテゴリ	時間数	備考
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・社会学連携 ・研究 ・マネジメント	h	

※掲載内容は8月末時点の
情報です。
最新情報は各開催部局に
お問い合わせいただく
か、学内ポータルサイト
「マイハンダイ」(FD 関係)
にてご確認ください。

-  定員
-  受講時間
-  使用言語
-  研修形式